

## 産業能率大学 情報マネジメント学部

経済学Ⅱ（経済学と経済事情）		履修年次	2
		単位	2
山崎 紀彦		配当期	後
		授業方法	講義 / 対面
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>マクロ経済学を基礎として、経済全体の生産量や雇用、物価などがどのように決定されるのか、政府の政策が景気や金利にどのような効果をもたらすのか等の問題を考える。 為替レートの変動、国際的な資本の移動など、新聞やニュースで話題となっている経済問題や政府の政策の影響などの現実経済を理解し、自らの考えを述べることができる。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済学の十大原理について説明できる。</li> <li>・国民総生産GDPをどのように求めるか説明できる。</li> <li>・経済成長や景気変動について理解し、その要因を説明できる。</li> <li>・今日の日本経済の課題を指摘し、その解決策について説明できる。</li> </ul>			
成績評価の方法			
・定期試験、課題、小テスト、授業外学習、授業出席により総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	I イントロダクション ①経済学の十大原理	8	Ⅲ長期の実物経済 ③失業
2	I イントロダクション ②相互依存と交易からの利益	9	Ⅳ長期における貨幣と価格 ①貨幣システムとインフレーション
3	I イントロダクション ③市場における需要と供給の作用	10	Ⅴ開放経済のマクロ経済学 ①開放マクロ経済学の基本概念
4	Ⅱマクロ経済学のデータ ①国民所得の測定	11	Ⅴ開放経済のマクロ経済学 ②開放経済のマクロ理論
5	Ⅱマクロ経済学のデータ ②生計費の測定	12	Ⅵ短期の経済変動 ①総需要と総供給
6	Ⅲ長期の実物経済 ①生産と成長	13	Ⅵ短期の経済変動 ②総需要に対する金融財政政策の影響
7	Ⅲ長期の実物経済 ②貯蓄、投資と金融システム	14	復習